

第626回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 震災資料保管庫

..... 神戸市東灘区

1995年1月17日5時46分に発生した阪神・淡路大震災は、初めて気象庁によって震度7を記録した地震でした。経験したことのないほどの都市直下型の地震により、阪神高速道路も甚大な被害を被り、想像を絶する状況でした。阪神高速道路(株)では震災の悲しみと混乱の中、人命救助、緊急対応が使命となっていました。同時に、この被災を後世に伝える必要を感じ、その一環として、被災した構造物を体系的に抽出し保管することとしました。



この震災資料保管庫に保管されている構造物は、地震の凄まじいエネルギーを彷彿させるものであり、これまで仮想でしかなかった実物の壊れ方を証明するものとなっています。地震発生から全線復旧までの623日間の緊迫した時間と関係者の対応も伝えるとともに、震災を教訓とした新技術、災害支援、防災教育などの取り組みも紹介しています。

東日本大震災や平成28年熊本地震など各地においても地震災害が起こっており、さらに今後、南海トラフ地震等も懸念されています。震災から20年あまりが過ぎ、この震災を風化させることなく、この施設が地震災害に対して、安全・安心の原点、また今後の地震災害に活かしていくことを期待しています。

(視察キーワード：阪神・淡路大震災、危機管理等)

2. 新名神高速道路 (仮称) 宝塚北SA

..... 宝塚市西谷

新名神高速道路は、愛知県名古屋市から兵庫県神戸市に至る全長約174kmの高速自動車国道で、2023年度に全線開通する予定です。(これにより、新名神の神戸JCT～新東名高速の海老名南JCTが高速道路で繋がることとなります。)



現在、西日本高速道路(株)では、滋賀県の大津JCTから神戸JCT間の約80kmについて施工中であり、このうち高槻JCT～神戸JCT間は、並行する中国道の慢性的な渋滞の解消が期待されており、2017年度の完成を目指して工事を展開しています。

当該区間の宝塚市北部の西谷地域に、(仮称)宝塚サービスエリアが計画されており、トイレや休憩施設が整備予定です。また、当該サービスエリアには、スマートインターチェンジも併設される計画であり、地域活性化にも寄与することが期待されています。

(視察キーワード：地域活性化、ストック効果、都市防災等)

3. 阪神・淡路大震災 神戸市役所の被災

..... 神戸市中央区

1995年1月17日5時46分に発生した阪神・淡路大震災により、神戸市役所2号館（SRC造＋RC造・地下1階地上8階・延べ面積23,620㎡・1957年完成）の6階部分が圧潰（層崩壊）し、南側にある1号館との渡り廊下8階部分が落下し、庁舎本体の6階以上は北側に1.5mずれ、全館が使用不能となりました。



このため、2号館の新築・増築・改築に対する案が出されたが、市民サービスの早期回復を図る必要性和工期・経費の面から検討を重ねた結果、

再利用できる既存部分は改修で対応し、可能な限り増築で2号館の復旧を図るという案が採用されました。

この方針に基づき、柱・壁等のクラックなどを中心とした被害に対しては、地下1階から地上4階まで耐震面を考慮した改修を行い、さらに軽量鉄骨・金属屋根からなる事務室を5階部分に増築しました。

設備面では、6階部分の圧潰により電気・電話・給排水・昇降機・ガスなど設備全般において大きな被害があり、復旧工事については建築工事と並行して既存部分の機能復旧を図るとともに、5階の増築部分には4階以下と同様の設備仕様としました。

震災当時、2号館に入庁していた部局は周辺ビル等に仮移転して業務を再開し、2号館復旧工事は、平成7年8月から上部の解体撤去を開始して、平成8年3月にすべての工事が完了しました。

（視察キーワード：阪神・淡路大震災等）

4. 国営明石海峡公園神戸地区 あいな里山公園

..... 神戸市北区

国営明石海峡公園は、明石海峡大橋を中心とした周辺地域の広域レクリエーションに対応するため設置された、『淡路地区』（兵庫県淡路市）と『神戸地区』（神戸市）の2地区からなる全体計画面積330haの国営公園です。公園の基本理念は『自然と人との共生、人と人との交流』。淡路地区は、大規模な土採り場跡地を花と緑あふれる公園に再生した事業で、平成14年に開園し現在は年間入園者50万人を超える公園となっています。



この度、平成28年5月28日に第Ⅰ期開園を迎えた神戸地区（愛称：あいな里山公園）は、『里地里山文化公園』をコンセプトに、棚田、畑やため池、樹林、茅葺き民家等からなる里地里山景観の再生・保全を行い、誰もが気軽に利用できる都市公園で「動態」としての里地里山を保全継承していく事業です。季節ごとの農作業体験をはじめ、生物観察、歴史講座など、里山の暮らしや文化を伝える各種体験プログラムを、地域や市民ボランティアの協力・参画を得て提供しています。自然と人との共生というわが国の伝統的な自然観を、国際都市神戸から海外の人々にも発信することも目指しています。

（視察キーワード：環境・景観、維持管理等）